

一般社団法人技術同友会・内閣府共催
「女性技術者の活躍推進に関するシンポジウム」開催報告



1 概要

一般社団法人技術同友会及び内閣府は、「女性技術者の活躍推進に関するシンポジウム 女性技術者の母集団拡大とキャリアパスの開発に向けて」を開催し、89 名が参加しました。本シンポジウムでは、実際に経営層に登用・任用された女性技術者の生の声を聴き、女性技術者の活躍推進への理解を深めるとともに、理工系に学ぶ女子学生の拡大を目指すものです。

平成 28 年 10 月 8 日(土) 14:00~16:45 経団連会館（東京都千代田区）

2 基調講演

ポール・マクナーニ氏（マッキンゼー社ディレクター）が登場し、女性活躍に関するマッキンゼー社の研究内容について講演されました。ポール氏は、「女性の活躍が進むヨーロッパでも 10 年前は『女性が企業に入ってマネジメント層に上がることは企業にとって重要なのか』という議論があった。」「2007 年の検証で執行役員に占める女性比率が高い企業は ROE 等の観点で業績がよいことが分かった。日本国内も女性管理職の比率が高い企業は ROE が高い。」「CSR ではなく、純粋にパフォーマンス（業績）の問題として推進することが論理的でありベストだと考える。」「女性活躍のマネジメントが進む企業では、第一に経営トップがコミットメントしており、そのもとで能力開発プログラムと支援制度が整備されている事例が多い。」と講演されました。



3 パネルディスカッション

実際に経営層に登用・任用された女性技術者として、青木秀子氏（花王(株)常務執行役員）、澤田拓子氏（塩野義製薬(株)取締役専務執行役員）、富永由加里氏（(株)日立ソリューションズ常務執行役員）、松本敬子氏（住友生命保険相互会社執行役員）が登場され、水本伸子氏（(株)IH 執行役員）がファシリテーターとなり、パネルディスカッションが行われました。まず、自身が理工系分野へ進路選択した理由や今後理工系分野を選択してもらう方法として「もともと算数や理科に興味があってそれが成績に反映したので。」「今の女子生徒等にはいろんな情報に惑わされず好きなことを実践する環境（周りの人間の配慮）が大切。」との意見がありました。次に、自身のこれまでの働き方について「子供という時間が少ないのは事実だけど、子育ては時間の長さではなくて密度が大切だと考えている。」「私の娘は『ママが楽しそうに仕事してたから』と私と同じ SE になった。」「子育ては一時的なものだから悩み過ぎないでほしい。仕事で多少はスピードダウンしていいから、とにかく辞めないことが大切。」「辞めようかと悩んだ時期のスピードダウンはその後に足かせになるということは全くない。」との意見がありました。また、管理者登用へのヒントについて「親身になって相談（愚痴）を聞いてくれる上司がいた。」「男性女性関係なく自分の意見を言う姿勢を認めてもらったと感じている。」との意見がありました。水本氏は「登壇した素敵な技術者を見て、若い人が頑張ろうと思い、上司の方が若い人を支援してあげようと思う好循環が進む機会になればうれしい。」と締めくくりました。

